

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)		相模原市高齢者・障害者虐待防止ネットワーク協議会			
事務局 (担当課)		高齢・障害者福祉課			
開催日時		令和2年12月2日(水)～令和2年12月18日(金)			
出席者	委員	22人(別紙のとおり)			
	事務局	5人(高齢・障害者福祉課長 他4人)			
	その他				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数
公開不可・一部不可の場合は、その理由		書面会議のため			
会議次第		<p>議 題</p> <p>(1) 相模原市の高齢・障害者虐待防止に向けた取組について</p> <p>(2) 高齢・障害者虐待の発生状況について</p> <p>(3) 高齢・障害者虐待防止のパンフレットについて</p> <p>(4) 各団体・機関の業務又は活動内容及び虐待防止・権利擁護への関わりについて</p> <p>(5) その他</p>			

## 審 議 経 過

主な内容は、次のとおり。( は委員の意見、 は事務局の説明)

( 審議を書面で行った理由 )

新型コロナウイルス感染症(以下「コロナ」という。)のまん延を防ぐために、委員等が一堂に会する方法により会議を開催することが困難であったため、書面により委員の意見を求め、回答を得ることにより会議の開催に代えることとした。

### 議 題

( 1 ) 相模原市の高齢・障害者虐待防止に向けた取組について

相模原市の虐待防止に関する取組について、事務局から説明資料を送付した。

研修については、コロナ禍でオンライン研修が一般化し、参加のしやすさもあるため、検討してはどうか。

「新しい生活様式」を踏まえたオンライン研修等を検討する。

施設の場合、閉鎖的になってしまうおそれがあるため、管理者とは別に「虐待防止責任者」のような人の配置を義務づけるというのはどうか。

障害者虐待防止法では、施設・事業所の管理者等に、「障害者虐待の防止等の措置」を講ずるものとしており、当該措置の一つの例として、虐待防止委員会がある。そのなかで、管理者とは別に、虐待防止の取組を進める「虐待防止マネジャー」(サービス管理責任者等を想定)を位置づけており、また、第三者委員や家族会のメンバーを当該委員会に入れると外部の目が加わり、より効果が高まるものと考えられている。

現在、国では、虐待防止委員会、責任者の設置等を義務化する方針で、高齢部門においても同様な体制整備を進めている。相模原市においては、指導監査等で、虐待防止体制等を確認している。

日頃から近所付き合いがある町内会の支援でさらに隣近所の付き合いを充実させ、異変の情報キャッチを素早くする体制作りが必要。

虐待を早期に発見し、問題の深刻化を防ぐためには、近隣住民をはじめ、地域の民生委員や自治会などの地域組織、高齢者を取り巻く様々な関係者が、虐待に対する認識を深め、虐待の兆候に気づくことが大切なため、本ネットワーク協議会等を活用し、体制整備に努める。

( 2 ) 高齢・障害者虐待の発生状況について

相模原市における虐待件数等について、事務局から説明資料を送付した。

高齢者、障害者とも虐待件数が増えている。高齢者の場合、在宅生活が増えているため、訪問看護の役割も重要であると再認識している。

高齢者虐待のケースで、緑区の連絡方法として訪問が13件と多いが、どのような背景があるのか。

担当課に確認したところ、計上に誤りがあり、13件とも訪問ではなく、来所に計上され、来所が16件となる。

昨年度のデータでは発生状況について大きな変化はみられないが、4月の緊急事態宣言以降、児童虐待等が社会問題にあるなかで相模原市の高齢・障害者虐待の発生状況が気になる。

令和元年度の養護者による障害者虐待の通報件数が、特に増加している。資料2-2の2からは、警察からの通報の増加が原因であると推測されるが、虐待通報が増えた原因（要因）について調査するのが望ましい。

今後、要因等を分析する。

通報件数が増加している理由としては、通報義務について周知されてきていると理解してよいか。

通報義務等については、継続した普及啓発を行っており、市民の意識が向上したことも一つとして考えられる。

障害については、通報件数が年々増加している。これは、虐待防止の取組が広く理解されてきた表れかと思う。一方で、引き続き虐待防止への取組が求められる。

毎年、高齢・障害者虐待ともに南区の発生件数が多いため、しっかり分析して要因を特定してもらいたい。

今後、要因等を分析する。

被虐待者の要介護度だけでなく、認知症の有無や程度も分かるとよい。

虐待の相談等件数が増加傾向にあるのは問題であると思うが、一方で、専門部署への相談や情報量が増えて、適切な対応が行われるのではないか。

- コロナの影響による生活状況の変化から、虐待や権利侵害に繋がるケースが増えていると感じる。感染予防のためサービス利用を自粛されることで生活状況や体調の確認が難しく、また、休業等による家庭の経済状況の変化から、患者にも経済的問題が起きている。

### (3) 高齢・障害者虐待防止のパンフレットについて

それぞれのパンフレットを配布し、意見を集約した。

早期発見、早期対応が必要であり、防止するためにも知っておくことは大切だと思う。

概ね良く出来ていると思う。「通報、相談者の秘密が守られる」旨は、目立つように太字や下線を付けるなど工夫をすると安心して相談してもらえるのではないか。

見やすく、ポイントがわかりやすく良い。

- 高齢者版のパンフレットで、さまざまな形態で掲載されている絵がもう少し大きくできないか。

虐待の説明の部分について、高齢者版より障害者版の方が見やすく、分かりやす

いように感じる。特にイラストが見やすい。

町内会組織を活用して一軒一軒の家庭に届けるようにして、日頃の生活のなかで関心を持ってもらうとよい。

意見をもとに改定し、普及・啓発を図る。

(4) 各団体・機関の業務又は活動内容及び虐待防止・権利擁護への関わりについて資料に基づき、各団体・機関の業務等について、情報交換を行った。

各団体・機関の取組の内容を知ることができた。定例会でも周知に努めていきたい。コロナ禍で活動に制限があるなか、大変だと思うが、それぞれの課題に取り組み、より一層連携強化に努めていきたい。

引き続き、市を中心とした関係部署と連携するとともに、必要に応じて、成年後見制度等を活用し、虐待防止、人権擁護に努力したいため、気軽に弁護士・弁護士会に相談してもらいたい。

虐待防止に向けて取り組んでいるが、利用者が急に立ち上がった時など、職員が「立たないで」とどうしても抑止の声かけをしてしまうことがある。「どうされましたか」と、まずは尋ねるよう取り組んでいるが、忙しいとつい制止する声かけが先になってしまう現状がある。利用者の気持ちを中心に考え、身につくようにと、グレーゾーンへの取組は引き続き行うことが大切である。

今年度はコロナの影響により、各団体・機関でも研修会等が開催出来ていないようなので、書面やオンライン研修を行い、情報共有が出来ることを期待している。

(5) その他

相模原市の取組を知る機会となり、自分自身の学びとなった。今年度はコロナ禍のため会議で直接会うことができず残念だった。今後、ますます活発な意見交換ができる場になるよう、協議会の発展を願っている。

昨年度の実績報告を下半期に受けることに、タイムラグを感じる。

コロナ禍の虐待発生状況は、早期に把握する必要があるのではないかと。

毎年会議に出席するなかで市の取組を知り、また、出席委員の熱意ある意見を聞き、有意義であった。

「虐待防止法」には、高齢者・障害者に加えて児童も対象となる法があるが、本協議会に含まれないのはどうしてか。これだけの団体・機関が参加しているため、各分野の権利擁護の基本指針になればよいと思う。

児童分野を含めた一体的な虐待防止ネットワークを構築することは可能だが、既に相模原市では、児童福祉法に基づく要保護児童対策地域協議会を設置している。なお、地域共生社会の実現のため、包括的支援体制が求められていることから、国の動向等を注視していく。

今後の超高齢化や認知症の増加のことを考えると、虐待はますます深刻化すると考える。虐待の問題はどうしても横に置かれがちになるため、行政からしっかりと発信し続けることが大切だと思う。

高齢・障害者虐待防止に加え、児童虐待、DV等の防止対策等との連携も必要。  
協議会での事例検討は、専門家の方や各団体・機関の意見を確認できる貴重な機会であった。

閉 会

以 上

相模原市高齢者・障害者虐待防止ネットワーク協議会出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	八木 鉄雄	相模原市民生委員児童委員協議会		出席
2	竹田 幹夫	相模原市自治会連合会		出席
3	安藤 正義	相模原市老人クラブ連合会		出席
4	古山 高	相模原市障害児者福祉団体連絡協議会		出席
5	富樫 るみ	相模原市社会福祉協議会		出席
6	水上 潤哉	相模原市医師会	会 長	出席
7	臼井 意	さがみはら介護支援専門員の会		出席
8	松並木 美春	相模原市医療ソーシャルワーカーの会		出席
9	吉澤 明子	相模原市訪問看護ステーション管理者会		出席
10	小林 立	相模原市高齢者福祉施設協議会		出席
11	倉橋 英理子	相模原市介護老人保健施設協議会		出席
12	佐藤 浩三	相模原市社会福祉事業団		出席
13	玉井 美紀	相模原市障害福祉事業所協会		出席
14	鈴木 敏彦	相模原市障害者施策推進協議会		出席
15	渡邊 史朗	相模原市障害者自立支援協議会		出席
16	山田 泰彦	神奈川労働局 雇用環境・均等部		出席
17	蒔田 克	相模原警察署 生活安全第一課		出席
18	井上 博樹	相模原南警察署 生活安全課		欠席
19	渡邊 敏弘	相模原北警察署 生活安全課		出席
20	影田 一範	津久井警察署 生活安全課		欠席
21	奥山 文子	相模原人権擁護委員協議会		出席
22	水谷 里枝子	神奈川県弁護士会相模原支部	副会長	出席
23	滝澤 衆	横浜地方務局相模原支局		出席
24	増田 美樹夫	相模原市健康福祉局地域包括ケア推進部		出席